

産地戦略

実施期間 令和8～12年度

実施主体 富山県
都道府県 富山県
対象地域 砺波市
対象品目 チューリップ球根（露地栽培）



新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
● 化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿

富山県内のチューリップ球根において、環境にやさしい栽培体系への転換を進め、化学肥料の使用量低減を目指す。

現在の栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名	栽培マニュアルに記載のとおり												
技術名													



グリーンな栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名	栽培マニュアルに記載のとおり												
技術名													

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R6	目標R12	備考
（参考）対象品目の作付面積（ha）	20 ▶ 20		
グリーンな栽培体系の取組面積（ha）	0.6 ▶ 5		
環境にやさしい栽培技術の取組面積（ha）	0.6 ▶ 5		
省力化に資する技術の取組面積（ha）	0.6 ▶ 5		

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境	化学肥料を基肥と追肥に施用	▶ 有機堆肥を基肥に施用	化学肥料の使用量削減
省力	手植え、手収穫	▶ ネット栽培機械による定植、収穫	労働時間の削減

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
環境	化学肥料の低減（化学肥料のN成分量kg/10a）	7.2	▶ 3.6	
省力	植付け、収穫時間の低減（時間/10a）	50	▶ 21	

* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）
* 化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

県内生産者へマニュアルを参考資料として情報提供することで技術普及と定着を図る。

関係者の役割

関係者名	富山県	農協	生産者	
役割	技術の実証、技術の普及、技術指導	技術の普及、技術指導	技術の実証	

その他